

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	5
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	8	4	1	18	0	5	8	4	1	18	0
(5)	(8)	(4)	(1)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	8	4	1	18	0	5	8	4	1	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
64	2	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{18} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
				選択	睡眠改善学					
1	教授	石原 茂和	R2.4				②	R2.4 配置見直しにより専任教員から兼任教員に変更 (2)		
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
				必修	選択					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{18} = 5.55 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の辞任等においては、当該教員が担当していた授業を引き受けることのできる教員を配置しており、学生の履修等への影響はない。授業担当については、シラバス・時間割等により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 学事日程（前期4月6日～）	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン授業を中心とした授業開始時期を、連休明けの5月7日とし、対面授業については、6月8日からに延期した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。

広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、教育・広報活動WG、研修活動WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、シラバス改革WG）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和2年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。

（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。

c 委員会の審議事項等

1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック
2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供
3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年2回）
4. FD活動報告冊子の発行（隔年）
5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み
6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供

② 実施状況

a 実施内容

1. 受講生満足度調査
2. FD講演会
3. FD研修会
4. FD newsletterの発行
5. FD活動報告冊子の発行
6. 授業公開
7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備

b 実施方法

実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮している。

c 開催状況（教員の参加状況を含む）

1. 受講生満足度調査の実施
 - ・前期 令和1年 6月～8月
 - ・後期 令和1年12月～令和2年2月
 - ・教員は、前期もしくは後期のどちらかで年間少なくとも1回は実施することとしている。

2. FD講演会の開催

- ・日時：令和1年7月30日（火）18：10～19：10
- ・テーマ：私の授業を紹介します！～授業公開活動を通じて～
- ・参加者数：112名

- ・日時：令和2年2月17日（月）10：00～11：00
- ・テーマ：私の授業を紹介します！～授業公開活動を通じて～
- ・参加者数：106名

- ・日時：令和1年7月5日（金）18：10～19：35
- ・テーマ：大学授業における著作権の考え方とICT活用について
- ・参加者数：91名

- ・日時：令和2年2月12日（水）10：30～11：30
- ・テーマ：Population Health Managementに基づいた医療保険提供体制の構築に向けて
- ・参加者数：64名

3. FD研修会の開催

- ・日時：①令和1年9月3日（火）10：30～12：30【東広島キャンパス】
- ②令和1年9月4日（水）9：30～11：30【呉キャンパス】

・テーマ：コミュニケーション研修

・対象：全教員

- ・参加人数：①13名
- ②10名

- ・日時：①令和1年9月3日（火）14：00～17：00【東広島キャンパス】
- ②令和1年9月4日（水）13：00～16：00【呉キャンパス】

・テーマ：ルーブリック活用研修

・対象：全教員

- ・参加人数：①15名
- ②4名

4. FD newsletterの発行

- ・年2回発行（令和1年12月、令和2年3月に発行）
- ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和1年5月～6月

授業公開実施者数：90名、聴講者数：169名

- ・後期 令和1年12月

授業公開実施者数：95名、聴講者数：182名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期 各13～15回目の授業日）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計
結果に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月2日

広学内117

(目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

- イ 総合教育センター長
- ロ 各学部から学長が指名した者 若干名
- ハ 教務課長
- ニ その他学長が指名した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(委員の任期)

第3条 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項ロ号およびニ号の委員の任期は、2年とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

- イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること
- ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行
- ハ FDプログラムの開発
- ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析
- ホ 授業改善のための方策の検討
- ヘ その他FDに関すること

(委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

- 2 委員長および副委員長は、委員の中から学長が任命する。
- 3 委員長は、審議の必要が生じたとき、委員会を招集し、議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

- 2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。
- 3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

(委員会の庶務)

第8条 委員会の庶務は、教務部教務課で取り扱う。

(規定の改廃)

第9条 この規定の改廃は、委員会の意見を聴き、学部長会議の議を経て、学長が行う。

付 則

- 1 この規定は、2004年4月1日から施行する。
- 2 この改正規定は、2020年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「健康科学部」は、少子高齢化の進展、疾病構造の変化等により、健康増進を形成する基本要素となる「交流、休養、栄養・食生活」等の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善の需要が高まっていることを背景に設置したのもであり、4つの学科で構成している。

「医療福祉学科」では、社会福祉学に関する専門知識と技術を幅広く修得し、豊かな人間性を土台として、専門的知識・技術を用いて、様々な生活上の問題を抱える人々に寄り添いながら、地域生活を支援できる人材を養成する。

「医療経営学科」では、医療マインドを有した経営スキルをもって、多角的に医療や健康を検討できる「医療経営」人材を育成し、多くの専門職からなる医療組織を効果的に束ねて、効率的な医療提供を医療機関において貢献する医療マネジメントスタッフの養成を行う。

「心理学科」では、心理学の専門知識とコミュニケーション技術を生かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。

「医療栄養学科」では、人々の健康の維持、病気の予防・改善のため、栄養と食の力を活用し、地域社会の健康・医療・福祉に貢献できる管理栄養士を養成する。

これらの目的を達成するため以下の取り組みを行っている。

1. 入学者確保

学生募集活動では、学科紹介パンフレット作成、ホームページ作成、オープンキャンパスや業者入試説明会への参加、高校等へ積極的に広報を展開し、教育内容とアドミッションポリシーの浸透を行った。さらに、高校生・保護者に加え、高校教諭や地域住民を対象とした学部開設記念シンポジウムを開催し、健康科学部の認知度向上につなげた。

今後も引き続き、定員充足にむけた各種改善策の取組みに加えて、学生募集戦略の一層の強化による学生確保に努めることとする。

2. 初年次教育

日本政府による緊急事態宣言の発出を受け、大学における新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、一部オンデマンド（オンライン）授業を活用した。授業実施にあたっては、自律的な学修や、学生一人ひとりに応じたきめ細かな教育が提供できるよう、設問解答、添削指導、質疑応答等の指導を十分に行うことに留意した。

3. 新任教員オリエンテーション

令和2年4月に着任した教員に対し、本学の方針、ビジョン（中長期目標・計画等）、人材養成の理念、学生支援や事務手続等について研修を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、研修の一部をオンデマンドで行い、各自視聴できる体制を築き対面での時間を短縮して実施した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・「2018年度自己点検・評価報告書」を平成30（2019）年3月に公表済

b 公表方法

・大学のホームページ上で公表

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/jikoten.html>

③ 認証評価を受ける計画

・平成27（2015）年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の大学評価（大学機関別認証評価）を受審、適合認定を得た。評価結果は大学ホームページ上で公開済。

・次回は、令和4（2022）年度に公益財団法人日本高等教育評価機構（大学機関別認証評価）を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

広島国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒737-0112

広島県呉市広古新開5丁目1番1号

〔 〒739-2695
広島県東広島市黒瀬学園台555番地36 〕

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)		
学長	(ヤケヒロ マスヒデ) 焼廣 益秀 (平成27年11月)		
学部長	(タナカ ヒデキ) 田中 秀樹 (令和2年4月)		
学科長等	(アサヒ クミコ) 旭 久美子 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 医療栄養学科 学士 (医療栄養学)	家政関係	4年	60人	-	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60人 (-) [-]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.01倍	一倍	
志願者数	175 (-) [-]	- (-) [-]	() () []										
受験者数	173 (-) [-]	- (-) [-]	() () []										
合格者数	117 (-) [-]	- (-) [-]	() () []										
B 入学者数	61 (-) [-]	- (-) [-]	() () []										
入学定員超過率 B/A	1.01												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	61 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()								
2年次	/		[] ()								
3年次	/		/		[] ()						
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	61 [-] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	61 人	0 人	令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 医療栄養学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1			1						兼3	
	チュートリアル	1前	1			8	1	1	1				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1			1							
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1			1							
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1			1							
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1			1							
	地域創生と危機管理	3前・後	1				1					兼6	
	デジタルコミュニケーション	1前	1									兼2	
	データサイエンスⅠ	1後	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼2	
	英語リーディングⅠ	2前	1									兼2	
	英語リーディングⅡ	2後	1									兼2	
	スポーツ学	2前・後	1									兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1・2前・後	1									兼8	
小計 (15 科目)	—	—	15	0	0	9	2	1	1	0	0	兼17	
スタンダード科目 合計 (15 科目)			—	15	0	0	9	2	1	1	0	0	兼17
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (4 科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
		小計 (1 科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2								兼1	
		文学	1・2・3前・後	2								兼1	
		心理学	1・2・3前・後	2			1						
		芸術学	1・2・3前・後	2								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後	2								兼1	
	小計 (5 科目)	—	0	10	0	0	1	0	0	0	0	兼4	
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後	2								兼1	
		経済学	1・2・3前・後	2								兼1	
歴史学		1・2・3前・後	2								兼1		
政治学		1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (4 科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4		
人間と自然	統計学	1前・後	2								兼1		
	数学基礎	1・2・3前・後	1								兼1		
	数学	1・2・3前・後	2								兼1		
	物理学	1・2・3前・後	2								兼1		
	化学	1前・後	2								兼1		
	生物学	1前・後	2			1							
科学実験a	1・2・3前・後	1								兼2			
自然間と	科学実験b	1・2・3前・後	1			1					兼2		
	小計 (8 科目)	—	6	7	0	2	0	0	0	0	0	兼6	
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2								兼1		
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (2 科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
グローバルアドバンス	Reading & Writing	2・3前・後	1								兼1		
	英語プレゼンテーション	2・3前・後	1								兼1		
	検定英語	2・3前・後	1								兼1		
	グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1								兼1		
	グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1								兼2		
小計 (5 科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	兼5		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1			1						兼3	
	チュートリアル	1前	1			7	1	2	1				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1			2							
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1			3							
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1			1							
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1			1							
	地域創生と危機管理	3前・後	1				1					兼6	
	デジタルコミュニケーション	1前	1									兼2	
	データサイエンスⅠ	1後	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼2	
	英語リーディングⅠ	2前	1									兼2	
	英語リーディングⅡ	2後	1									兼2	
	スポーツ学	2前・後	1									兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1・2前・後	1									兼8	
小計 (15 科目)	—	—	15	0	0	9	2	2	1	0	0	兼17	
スタンダード科目 合計 (15 科目)			—	15	0	0	9	2	1	1	0	0	兼17
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (4 科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
		小計 (1 科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2								兼1	
		文学	1・2・3前・後	2								兼1	
		心理学	1・2・3前・後	2			1						
		芸術学	1・2・3前・後	2								兼1	
		文化人類学	1・2・3前・後	2								兼1	
	小計 (5 科目)	—	0	10	0	0	1	0	0	0	0	兼4	
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後	2								兼1	
		経済学	1・2・3前・後	2								兼1	
歴史学		1・2・3前・後	2								兼1		
政治学		1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (4 科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4		
人間と自然	統計学	1前・後	2								兼1		
	数学基礎	1・2・3前・後	1								兼1		
	数学	1・2・3前・後	2								兼1		
	物理学	1・2・3前・後	2								兼1		
	化学	1前・後	2								兼1		
	生物学	1前・後	2			1							
科学実験a	1・2・3前・後	1								兼2			
自然間と	科学実験b	1・2・3前・後	1			1					兼2		
	小計 (8 科目)	—	6	7	0	2	0	0	0	0	0	兼6	
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2								兼1		
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (2 科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
グローバルアドバンス	Reading & Writing	2・3前・後	1								兼1		
	英語プレゼンテーション	2・3前・後	1								兼1		
	検定英語	2・3前・後	1								兼1		
	グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1								兼1		
	グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1								兼1		
小計 (5 科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	兼5		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
オプション科目 アドバンスド	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1								兼2	
		データ解析	1・2・3前・後	1								兼2	
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1								兼2	
	小計(3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
	育保 健体	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼8
		小計(1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼8
	人間と文化	人間と文化a	1・2・3前・後	1									兼1
		人間と文化b	1・2・3前・後	1									兼1
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後	1									兼1
		人間と社会b	1・2・3前・後	1									兼1
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後	1									兼1
		人間と自然b	1・2・3前・後	1									兼1
小計(2科目)		—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1			1						兼7	
	小計(1科目)	—	0	1	0	0	1	0	0	0	0	兼7	
オプション	留学生特例科目												
	人間と社会	日本事情a	1・2・3前・後	2									兼1
		日本事情b	1・2・3前・後	2									兼1
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
	グローバル	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2									兼1
日本語Ⅱ		1・2・3前・後	2									兼1	
小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
オプション科目 合計(44科目)			—	6	58	0	2	1	0	0	0	0	兼29
専門教育科目	た医療人養成に向け 基礎教育	管理栄養士概論	1前・後	1			4	1	1				
		早期体験学習	1前・後	1			4			1	1		
		医療・生命倫理	1前・後	1			1					兼1	
		医学・医療概論	1前・後	1			1					兼1	
	健康・環境と 社会	公衆衛生学Ⅰ	1前・後	2			1						
		公衆衛生学Ⅱ	1前・後	2			1						
		公衆衛生学Ⅲ	2前・後	2			1						
	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	生理学	1前・後	2			1						
		解剖学	1前・後	2			1					兼1	
		生理解剖学実習	1前・後	1			2				1		
		生化学Ⅰ	1前・後	2			1						
		生化学Ⅱ	1前・後	2			1						
		生化学実験Ⅰ	1前・後	1			1				1		
		生化学実験Ⅱ	2前・後	1			2				1		
		病態学Ⅰ	1前・後	2			1						
		病態学Ⅱ	2前・後	2			1						
		病態学Ⅲ	2前・後	2			1					兼1	
	病態生理学実習	2前・後	1			2				1			
	食への物と健康	調理学	1前・後	2								兼1	
		調理学実習	1前・後	1							1	兼1	
		調理科学実験	1前・後	1							1	兼1	
		食品化学Ⅰ	1前・後	2			1						
		食品化学Ⅱ	2前・後	2			1						
食品化学実験		2前・後	1			1				1			
食品加工学		2前・後	2			1							
食品加工学実習		3前・後	1			1				1			
食品衛生学		1前・後	2								兼1		
食品衛生学実験	3前・後	1							1	兼5			
献立作成実習	2前・後	1							1	兼1			
小計(29科目)	—	44	0	0	8	1	1	1	5		兼9		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
オプション科目 アドバンスド	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1								兼2	
		データ解析	1・2・3前・後	1								兼2	
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1								兼2	
	小計(3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
	育保 健体	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼8
		小計(1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼8
	人間と文化	人間と文化a	1・2・3前・後	1									兼1
		人間と文化b	1・2・3前・後	1									兼1
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後	1									兼1
		人間と社会b	1・2・3前・後	1									兼1
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後	1									兼1
		人間と自然b	1・2・3前・後	1									兼1
小計(2科目)		—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1				1					兼7	
	小計(1科目)	—	0	1	0	0	1	0	0	0	0	兼7	
オプション	留学生特例科目												
	人間と社会	日本事情a	1・2・3前・後	2									兼1
		日本事情b	1・2・3前・後	2									兼1
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
	グローバル	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2									兼1
日本語Ⅱ		1・2・3前・後	2									兼1	
小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
オプション科目 合計(44科目)			—	6	58	0	2	1	0	0	0	0	兼29
専門教育科目	た医療人養成に向け 基礎教育	管理栄養士概論	1前・後	1						3	1	2	
		早期体験学習	1前・後	1						4		1	
		医療・生命倫理	1前・後	1						1			
		医学・医療概論	1前・後	1						1			
	健康・環境と 社会	公衆衛生学Ⅰ	1前・後	2									
		公衆衛生学Ⅱ	1前・後	2							1		
		公衆衛生学Ⅲ	2前・後	2							1		
	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	生理学	1前・後	2						1			
		解剖学	1前・後	2						1			
		生理解剖学実習	1前・後	1						1		兼1	
		生化学Ⅰ	1前・後	2						1			
		生化学Ⅱ	1前・後	2						1			
		生化学実験Ⅰ	1前・後	1						1		1	
		生化学実験Ⅱ	2前・後	1						2		1	
		病態学Ⅰ	1前・後	2						1			
		病態学Ⅱ	2前・後	2						1			
		病態学Ⅲ	2前・後	2						1		兼1	
	病態生理学実習	2前・後	1						2		1		
	食への物と健康	調理学	1前・後	2									
		調理学実習	1前・後	1								1	
		調理科学実験	1前・後	1								1	
		食品化学Ⅰ	1前・後	2						1			
		食品化学Ⅱ	2前・後	2						1			
食品化学実験		2前・後	1						1		1		
食品加工学		2前・後	2						1				
食品加工学実習		3前・後	1						1		1		
食品衛生学		1前・後	2								兼1		
食品衛生学実験	3前・後	1								兼5			
献立作成実習	2前・後	1								1			
小計(29科目)	—	44	0	0	7	1	2	1	5		兼7		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎栄養学	基礎栄養学	1前・後	2			2			1		
		基礎栄養学実験	2前・後	1			2			1		
		食事摂取基準演習	2前・後	1			2			1		
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前・後	2			1					
		応用栄養学Ⅱ	2前・後	2			1					
		応用栄養学Ⅲ	2前・後	2			1					
		応用栄養学実習	2前・後	1			1				1	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	1前・後	2			1					
		栄養教育論Ⅱ	2前・後	2			1					
		栄養教育論Ⅲ	2前・後	2			1					
		栄養教育論実習	2前・後	1			1				1	
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2前・後	2				1				
		臨床栄養学各論Ⅰ	2前・後	2				1				
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前・後	2				1				
		臨床栄養学各論Ⅲ	3前・後	2				1				
専門応用分野	臨床栄養学	臨床栄養学実習Ⅰ	3前・後	1			1				1	
		臨床栄養学実習Ⅱ	3前・後	1			1				1	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2前・後	2			1					
		公衆栄養学Ⅱ	3前・後	2			1					
		公衆栄養学実習	3前・後	1			1				1	
	給食経営管理論	給食経営管理総論	2前・後	2					1			
		給食経営管理各論	2前・後	2					1			
		給食経営管理実習Ⅰ	2前・後	1					1		2	
		給食経営管理実習Ⅱ	3前・後	1					1		2	
	総合演習	総合演習Ⅰ	3前・後	1					1		1	
総合演習Ⅱ		4前・後	1					1		1		
総合演習Ⅲ		4前・後	1			1	1			1		
総合演習Ⅳ		4前・後	1			1	1			1		
総合演習Ⅴ		4前・後	1			1	1			1		
総合専門演習Ⅰ		3前・後	1			8	1	1	1	5		
総合専門演習Ⅱ		4前・後	2			8	1	1	1	5		
臨地実習	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3前・後	1					1		1		
	臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）	4前・後	1			1	1	1		1		
	臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4前・後	2			1	1			1		
	臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	4前・後	1			1	1			1		
	臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）	4前・後	1			1	1			1		
関連科目	食育演習Ⅰ	1前・後	1			4	1	1	1	3		
	食育演習Ⅱ	2前・後	1			4	1	1	1	3		
	食育演習Ⅲ	3前・後	1			4	1	1	1	3		
	国際栄養支援学演習	1・2前・後	1			2						
	食医特論	3前・後	2			2	4					
	栄養薬学	3前・後	2			2	1					
	医療・福祉・介護と栄養ケア	3前・後	2			2	1					
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2			8	1	1		4		
卒業研究Ⅱ	4前・後	2			8	1	1		4			
小計（45科目）		—	51	16	0	9	1	1	1	5	兼1	
専門教育科目 合計（74科目）			—	95	16	0	9	1	1	1	5	兼10
栄養に係る教育に関する科目												
	学校栄養教育論Ⅰ	3前・後	2								兼2	
	学校栄養教育論Ⅱ	3前・後	2								兼2	
栄養に係る教育に関する科目 合計（2科目）			—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎栄養学	基礎栄養学	1前・後	2			2			1		
		基礎栄養学実験	2前・後	1			2			1		
		食事摂取基準演習	2前・後	1			2			1		
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前・後	2			1					
		応用栄養学Ⅱ	2前・後	2			1					
		応用栄養学Ⅲ	2前・後	2			1					
		応用栄養学実習	2前・後	1			1				1	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	1前・後	2			1					
		栄養教育論Ⅱ	2前・後	2			1					
		栄養教育論Ⅲ	2前・後	2			1					
		栄養教育論実習	2前・後	1			1				1	
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2前・後	2				1				
		臨床栄養学各論Ⅰ	2前・後	2				1				
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前・後	2				1				
		臨床栄養学各論Ⅲ	3前・後	2				1				
専門応用分野	臨床栄養学	臨床栄養学実習Ⅰ	3前・後	1				1			1	
		臨床栄養学実習Ⅱ	3前・後	1				1			1	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2前・後	2						1		
		公衆栄養学Ⅱ	3前・後	2						1		
		公衆栄養学実習	3前・後	1						1	1	
	給食経営管理論	給食経営管理総論	2前・後	2						1		
		給食経営管理各論	2前・後	2						1		
		給食経営管理実習Ⅰ	2前・後	1						1	2	
		給食経営管理実習Ⅱ	3前・後	1						1	2	
	総合演習	総合演習Ⅰ	3前・後	1						1	1	
総合演習Ⅱ		4前・後	1						1	1		
総合演習Ⅲ		4前・後	1			1	1			1		
総合演習Ⅳ		4前・後	1			1	1			1		
総合演習Ⅴ		4前・後	1			1	1		1	1		
総合専門演習Ⅰ		3前・後	1			7	1	2	1	5		
総合専門演習Ⅱ		4前・後	2			7	1	2	1	5		
臨地実習	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3前・後	1						1	1		
	臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）	4前・後	1			1	1	1		1		
	臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4前・後	2			1	1			1		
	臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	4前・後	1			1	1			1		
	臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）	4前・後	1						1	1		
関連科目	食育演習Ⅰ	1前・後	1			3	1	2	1	3		
	食育演習Ⅱ	2前・後	1			3	1	1	1	3		
	食育演習Ⅲ	3前・後	1			3	1	1	1	3		
	国際栄養支援学演習	1・2前・後	1			2						
	食医特論	3前・後	2			2	4					
	栄養薬学	3前・後	2			2	1					
	医療・福祉・介護と栄養ケア	3前・後	2			2	1					
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2			7	1	2		4		
卒業研究Ⅱ	4前・後	2			7	1	2		4			
小計（45科目）		—	51	16	0	8	1	2	1	5	兼1	
専門教育科目 合計（74科目）			—	95	16	0	8	1	2	1	5	兼8
栄養に係る教育に関する科目												
	学校栄養教育論Ⅰ	3前・後	2								兼2	
	学校栄養教育論Ⅱ	3前・後	2								兼2	
栄養に係る教育に関する科目 合計（2科目）			—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目												
	教育原理	1前・後			1							兼1
	教職概論	1前・後			2	1						兼1
	教育制度論	2前・後			1							兼1
	学校教育心理学	1前・後			1	1						兼1
	特別支援教育論	2前・後			1							兼1
	教育課程論	3前・後			2	1						
	道徳・特別活動論	3前・後			2	1						
	総合的な学習の時間論	3前・後			1	1						
	教育方法論	2前・後			2	1						
	生徒指導論	2前・後			1	1						
	教育相談	3前・後			1	1						
	栄養教育実習Ⅰ	4前・後			1	3	1					
	栄養教育実習Ⅱ	4前・後			1	3	1					
	教職実践演習（栄養教諭）	4後			2	3	1					
	小計（14科目）	—	0	0	19	3	1	0	0	0	0	兼3
教職に関する科目 合計（14科目）			—	0	0	19	3	1	0	0	0	兼3
合計（149科目）			—	116	78	19	10	2	1	1	5	兼44
卒業要件及び履修方法												
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計125単位以上を修得すること。												
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。												
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位 (小計) 15単位 ○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 (小計) 10単位以上 ○専門教育科目 必修科目：95単位 (『専門基礎分野』44単位、『専門応用分野』51単位) 選択必修科目：2単位 (『専門応用分野』の「総合演習」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位) (小計) 97単位以上 ○その他：3単位 『専門応用分野』及び『栄養に係る教育に関する科目』の「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」ならびに他学科の専門教育科目から3単位 (小計) 3単位以上 (合計) 125単位以上 ○教職科目 教職に必要な単位数は、 『スタンダード科目』（6単位） 〔「スポーツ学」1単位、「スポーツ実習Ⅰ」1単位、「英語コミュニケーションⅠ」1単位、「英語コミュニケーションⅡ」1単位、「デジタルコミュニケーション」1単位、「データサイエンスⅠ」1単位〕、 『オプション科目』（2単位） 〔「日本国憲法」2単位〕、 『栄養に係る教育に関する科目』（4単位） 〔「学校栄養教育論Ⅰ」2単位、「学校栄養教育論Ⅱ」2単位〕、 『教職に関する科目』（19単位） の合計31単位を修得しなければならない。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目												
	教育原理	1前・後			1							兼1
	教職概論	1前・後			2	1						兼1
	教育制度論	2前・後			1							兼1
	学校教育心理学	1前・後			1	1						兼1
	特別支援教育論	2前・後			1							兼1
	教育課程論	3前・後			2	1						
	道徳・特別活動論	3前・後			2	1						
	総合的な学習の時間論	3前・後			1	1						
	教育方法論	2前・後			2	1						
	生徒指導論	2前・後			1	1						
	教育相談	3前・後			1	1						
	栄養教育実習Ⅰ	4前・後			1	3	1					
	栄養教育実習Ⅱ	4前・後			1	3	1					
	教職実践演習（栄養教諭）	4後			2	3	1					
	小計（14科目）	—	0	0	19	3	1	0	0	0	0	兼3
教職に関する科目 合計（14科目）			—	0	0	19	3	1	0	0	0	兼3
合計（149科目）			—	116	78	19	10	2	2	1	5	兼44
卒業要件及び履修方法												
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計125単位以上を修得すること。												
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。												
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位 (小計) 15単位 ○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 (小計) 10単位以上 ○専門教育科目 必修科目：95単位 (『専門基礎分野』44単位、『専門応用分野』51単位) 選択必修科目：2単位 (『専門応用分野』の「総合演習」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位) (小計) 97単位以上 ○その他：3単位 『専門応用分野』及び『栄養に係る教育に関する科目』の「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」ならびに他学科の専門教育科目から3単位 (小計) 3単位以上 (合計) 125単位以上 ○教職科目 教職に必要な単位数は、 『スタンダード科目』（6単位） 〔「スポーツ学」1単位、「スポーツ実習Ⅰ」1単位、「英語コミュニケーションⅠ」1単位、「英語コミュニケーションⅡ」1単位、「デジタルコミュニケーション」1単位、「データサイエンスⅠ」1単位〕、 『オプション科目』（2単位） 〔「日本国憲法」2単位〕、 『栄養に係る教育に関する科目』（4単位） 〔「学校栄養教育論Ⅰ」2単位、「学校栄養教育論Ⅱ」2単位〕、 『教職に関する科目』（19単位） の合計31単位を修得しなければならない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「チュートリアル」の専任教員の配置を「教授8、准教授1、講師1、助教1」から「教授7、准教授1、講師2、助教1」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。（手納 直規専任教授 減。坂本 宏司専任教授、寺重 隆規専任教授 増。） ・教育内容の充実を図るため「専門職連携基礎演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。（坂本 宏司専任教授 減。手納 直規専任教授、山口 光枝専任教授、長嶺 憲太郎専任教授 増。） ・担当科目の見直しにより「グローバル化と人間b」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。（田野 慎二兼担教授 減。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「管理栄養士概論」の専任教員の配置を「教授4、准教授1、講師1」から「教授3、准教授1、講師2」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当教員の逝去に伴い「医療・生命倫理」、「医学・医療概論」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「教授1」に変更。（島谷 智彦兼担教授 減。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「公衆衛生学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。清水 良兼担講師 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「公衆衛生学Ⅱ」、「公衆衛生学Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当科目の見直しによる「生理解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授2、助手1」から「教授1、助手1、兼1」に変更。（長嶺 憲太郎専任教授 減。兒玉 安史兼担准教授 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「公衆栄養学Ⅰ」、「公衆栄養学Ⅱ」、「公衆栄養学実習」、「総合演習Ⅴ」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「総合専門演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授8、准教授1、講師1、助教1、助手5」から「教授7、准教授1、講師2、助教1、助手5」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「総合専門演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授8、講師1、助教1、助手5」から「教授7、講師2、助教1、助手5」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）」の専任教員の配置を「教授1・助手1」から「講師1、助手1」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「食育演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教1、助手3」から「教授3、准教授1、講師2、助教1、助手3」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「食育演習Ⅱ」、「食育演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教1、助手3」から「教授3、准教授1、講師1、助教1、助手3」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。） ・担当教員の自己都合による退職（令和2年3月末）のため「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」の専任教員の配置を「教授8、准教授1、講師1、助手4」から「教授7、准教授1、講師2、助手4」に変更。（辻本 洋子専任教授 減。森 宏子専任講師 増。）

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
79 科目	56 科目	14 科目	149 科目	79 科目 [0]	56 科目 [0]	14 科目 [0]	149 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 1,460.88㎡ 1,896.32㎡ 2,384.69㎡ 借用期間：30年 (平成20年以來継 続) 運動場用地売却のため。(2)			
	校舎敷地	213,334.58㎡	0㎡	0㎡	213,334.58㎡				
	運動場用地	185,687.51㎡ 189,896.36㎡	0㎡	0㎡	185,687.51㎡ 189,896.36㎡				
	小 計	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡ 403,230.94㎡				
	そ の 他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡				
合 計	405,537.98㎡ 409,746.83㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡ 409,746.83㎡					
(2) 校 舎	専 用	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ (116,024.62㎡) (117,137.07㎡)	共 用 0㎡	共用する他の 学校等の専用 0㎡	計 116,024.62㎡ 117,137.07㎡ (116,024.62㎡) (117,137.07㎡)	登記上面積の誤差のため(2)			
			(0㎡)	(0㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	86室 94室	演 習 室 419室 453室	実験実習室 262室 277室	情報処理学習施設 8室 11室 (補助職員 人)	語学学習施設 0室 (補助職員 人)	キャンパス集約に伴う変更。設置学部では使用しない部屋であり、教育・研究に支障はない。(2)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	健康科学部 医療栄養学科			15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 ・図書 197,132冊 186,881冊 〔30,118冊〕 〔30,198冊〕 共用分PC関係洋図書除籍による減。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) ・学術雑誌 1,110種 21,265冊 〔472種〕 〔9,526冊〕 冊数→種数に変更(2) 長キャンパス共用分 ・電子ジャーナル 19種 〔18種〕 【図書】 教育研究環境充実のため。 (2) 【学術雑誌】 学術雑誌・電子ジャーナルの減少は購読を取りやめたため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 【視聴覚資料】 学科視聴覚資料の減少は旧版資料を除籍したため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 【機械・器具】 教育研究環境充実のため。 (2) 【標本】 教育研究環境充実のため。 (2)	
	健康科学部 医療栄養学科	2,845〔493〕 2,766〔493〕	21〔6〕 22〔6〕	0〔0〕 1〔1〕	17〔0〕 24	770 647	25 6		
		(2,845〔493〕) (2,766〔493〕)	(21〔6〕) (22〔6〕)	(0〔0〕) (1〔1〕)	(17〔0〕) (24)	770 (647)	(25) (6)		
	計	2,845〔493〕 2,766〔493〕	21〔6〕 22〔6〕	0〔0〕 1〔1〕	17〔0〕 24	770 647	25 6		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席数減少は設備故障等による閲覧室閉鎖、書架増設のため。(2) 収納可能冊数の増加は書架増設のため。(2)		
	3,621.31㎡		507 636		253,643 244,195				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	5,550.52㎡		第2練習場、第3練習場、第4練習場、テニスコート4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費の見積りは学部全体 【教員1人当り研究費等】 学部配分予算変更のため。(2) 【図書購入費】 図書予算減少のため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 【設備購入費】 教育研究環境充実のため。(2)
		教員1人当り研究費等	190千円 283千円	283千円	図書購入費	9,879千円 10,663千円	8,495千円 10,462千円	10,236千円	
	共同研究費等	-千円	-千円	設備購入費	6,255千円 3,363千円	3,329千円	3,363千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,370千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、補助活動収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	広島国際大学大学院										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
看護学研究科 博士前期課程	2	10	-	20	-	0.00	0.00	-	平成15	-	
看護学専攻	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.00	0.00	-	平成15	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
看護学研究科 博士後期課程	3	3	-	9	-	0.00	0.00	-	平成24	-	
看護学専攻	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	-	平成24	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	-	20	-	1.30	1.30	-	平成21	-	
医療工学専攻	2	10	-	20	修士 (医療工学)	1.30	1.30	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.66	0.00	-	平成21	-	
医療工学専攻	3	2	-	6	博士 (医療工学)	0.66	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	0.30	0.30	-	平成21	-	
医療福祉学専攻	2	5	-	10	修士 (医療福祉学)	0.30	0.20	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療経営学専攻	2	5	-	10	修士 (医療経営学)	0.30	0.40	-	平成21	同上	
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.00	0.00	-	平成21	-	
臨床心理学専攻	3	2	-	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	-	40	-	0.65	0.60	-	平成21	-	
実践臨床心理学専攻	2	20	-	40	臨床心理修士 (専門職)	0.65	0.60	-	平成21	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
薬学研究科 博士課程	4	2	-	8	-	0.62	0.00	-	平成24	-	
医療薬学専攻	4	2	-	8	博士 (薬学)	0.62	0.00	-	平成24	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
大学院全体	-	59	-	129	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	広島国際大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	-	820	-	1.05	1.07	-	平成10	-	
診療放射線学科	4	70	-	280	学士 (診療放射線学)	1.11	1.18	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療技術学科	4	100	-	490	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.99	0.93	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100 (-30)
臨床工学専攻 臨床検査学専攻											
救急救命学科	4	50	-	50	学士 (救急救命学)	1.22	1.22	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	-	660	-	1.07	1.06	-	平成25		
リハビリテーション学科	4	180	-	570	学士 (理学療法学) (作業療法学) (言語聴覚療法学) (義肢装具学)	1.12	1.06	令和2	平成25	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度定員変更 130→180 (+50)
理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚療法学専攻 義肢装具学専攻											
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	-	-	90	学士 (義肢装具学)	-	-	-	平成25	同上	令和2年度 学生募集停止
医療福祉学部	4	-	3年次 10 3年次 10	320	-	-	-	-	平成10		
医療福祉学科	4	-	3年次 10	320	学士 (医療福祉学)	-	-	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻											
医療経営学部	4	-	-	270	-	-	-	-	平成23		
医療経営学科	4	-	-	270	学士 (医療経営学)	-	-	-	平成23	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度 学生募集停止
心理科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成13		
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	-	平成13	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止 平成29年度3年次編入学募集停止
心理学部	4	-	3年次 10 3年次 10	290	-	-	-	-	平成27		
心理学科	4	-	3年次 10	290	学士 (心理学)	-	-	-	平成27	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
看護学部	4	120	3年次 10 3年次 10	500	-	1.05	1.07	-	平成15		
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.05	1.07	-	平成15	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
薬学部	6	120	-	720	-	0.84	0.98	-	平成18		
薬学科(6年制)	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.84	0.98	-	平成18	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	
医療栄養学部	4	-	-	180	-	-	-	-	平成26		
医療栄養学科	4	-	-	180	学士 (医療栄養学)	-	-	-	平成26	広島県呉市広古新開 五丁目1番1号	令和2年度 学生募集停止

大学の名称	広島国際大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
健康科学部	4	350	-	350	-	0.76	0.76	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
医療福祉学科	4	100	-	100	学士 (医療福祉学)	0.49	0.49	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻											
医療経営学科	4	90	-	90	学士 (医療経営学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
心理学科	4	100	-	100	学士 (心理学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
医療栄養学科	4	60	-	60	学士 (医療栄養学)	1.01	1.01	令和2	令和2	広島県呉市古新開 五丁目1番1号	
健康スポーツ学部	4	70	-	70	-	1.08	1.08	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
健康スポーツ学科	4	70	-	70	学士 (健康スポーツ学)	1.08	1.08	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
大学全体	-	1,060	3年次 30	4,180	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	大阪工業大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	-	220	-	1.12	1.04	-	昭和40	-	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	-	60	修士(工学)	0.88	0.83	-	平成29	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
電気電子・機械工学専攻	2	50	-	100	修士(工学)	1.20	1.16	-	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	-	60	修士(工学)	1.23	1.06	-	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	-	18	-	0.88	1.16	-	昭和42	-	
都市デザイン工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-	-	昭和42	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	平成29年度 学生募集停止
生体医学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-	-	平成19	同上	平成29年度 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-	-	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.66	1.00	-	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	1.00	1.00	-	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	1.00	1.50	-	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程	2	30	-	60	-	1.18	1.13	-	平成29	-	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	-	60	修士(工学)	1.18	1.13	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.16	0.00	-	平成29	-	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.16	0.00	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	-	80	-	1.02	1.22	-	平成12	-	
情報科学専攻	2	40	-	80	修士(情報学)	1.02	1.22	-	平成12	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
情報科学研究科 博士後期課程	3	5	-	15	-	0.00	0.00	-	平成14	-	
情報科学専攻	3	5	-	15	博士(情報学)	0.00	0.00	-	平成14	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	-	60	-	1.11	1.16	-	平成17	-	
知的財産専攻	2	30	-	60	知的財産修士(専門職)	1.11	1.16	-	平成17	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
大学院全体	-	223	-	459	-	-	-	-	-	-	

大学の名称		大阪工業大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
工学部	4	900	3年次 40	3,680	-	1.01	1.07	-	昭和24	-	
都市デザイン工学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.01	1.05	-	昭和24	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	平成29年度定員変更 90→100 (+10) 平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
空間デザイン学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18	同上	平成29年度定員変更 140→150 (+10)
建築学科	4	150	3年次 5	610	学士 (工学)	1.02	0.99	-	昭和24	同上	平成29年度定員変更 130→140 (+10)
機械工学科	4	140	3年次 5	570	学士 (工学)	0.98	1.07	-	昭和25	同上	平成29年度定員変更 130→140 (+10) 平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
ロボット工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成22	同上	平成29年度定員変更 115→125 (+10)
電気電子システム工学科	4	125	3年次 5	510	学士 (工学)	1.01	1.12	-	昭和24	同上	平成29年度定員変更 100→110 (+10)
電子情報システム工学科	4	110	3年次 5	450	学士 (工学)	1.05	1.19	-	昭和34	同上	平成29年度定員変更 120→130 (+10)
応用化学科	4	130	3年次 5	530	学士 (工学)	0.99	1.02	-	昭和33	同上	平成29年度定員変更 70→75 (+5)
環境工学科	4	75	3年次 5	310	学士 (工学)	1.03	1.10	-	平成18	同上	平成29年度定員変更 65→70 (+5)
生命工学科	4	70	3年次 5	290	学士 (工学)	1.00	1.08	-	平成22	同上	
ロボティクス&デザイン工学部	4	280	3年次 15	1,150	-	1.04	1.12	平成29	平成29	-	平成29年度学部設置
ロボット工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.02	1.08	平成29	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.07	1.14	平成29	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.03	1.14	平成29	平成29	同上	
情報科学部	4	420	3年次 20	1,720	-	1.00	1.06	-	平成8	-	
情報知能学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	0.97	1.07	-	平成8	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	平成29年度定員変更 95→105 (+10)
情報システム学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	0.98	1.04	-	平成8	同上	平成29年度定員変更 95→105 (+10)
情報メディア学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	1.02	1.06	-	平成14	同上	平成29年度定員変更 95→105 (+10)
ネットワークデザイン学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	1.02	1.08	-	平成19	同上	平成29年度定員変更 95→105 (+10)
知的財産学部	4	140	3年次 10	580	-	1.06	1.08	-	平成15	-	
知的財産学科	4	140	3年次 10	580	学士 (知的財産学)	1.06	1.08	-	平成15	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
大学全体	-	1,740	3年次 85	7,130	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	摂南大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学研究科 博士課程	4	4	-	16	-	0.62	0.50	-	平成24	-	
医療薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.62	0.50	-	平成24	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号	
理工学研究科 博士前期課程	2	34	-	68	-	0.74	0.67	-	平成元	-	
社会開発工学専攻	2	12	-	24	修士 (工学)	0.91	0.83	-	平成元	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
生産開発工学専攻	2	12	-	24	修士 (工学)	0.66	0.50	-	平成26	同上	
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	0.65	0.70	-	平成26	同上	
理工学研究科 博士後期課程	3	4	-	12	-	0.33	0.75	-	平成20		
創生工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.00	0.00	-	平成20	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
生命科学専攻	3	2	-	6	博士 (理学)	0.66	1.50	-	平成28	同上	
経済経営学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	0.05	0.10	-	平成26	-	
経済学専攻	2	5	-	10	修士 (経済学)	0.00	0.00	-	平成26	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
経営学専攻	2	5	-	10	修士 (経営学)	0.10	0.20	-	平成26	同上	
法学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.50	0.60	-	平成9	-	
法律学専攻	2	5	-	10	修士 (法学)	0.50	0.60	-	平成9	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.20	0.20	-	平成11	-	
国際言語文化専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	0.20	0.20	-	平成11	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
看護学研究科 修士課程	2	6	-	12	-	0.75	1.00	-	平成28	-	
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	0.75	1.00	-	平成28	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号	
大学院全体	-	68	-	148	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	摂南大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
理工学部	4	500	3年次 30	2,060	-	1.02	1.03	-	昭和50	-	
生命科学科	4	90	3年次 5	370	学士(理学)	1.03	1.13	-	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
住環境デザイン学科	4	70	3年次 5	290	学士(工学)	1.00	0.94	-	平成22	同上	
建築学科	4	70	3年次 5	290	学士(工学)	1.05	1.10	-	昭和50	同上	
機械工学科	4	110	3年次 5	450	学士(工学)	1.01	1.00	-	昭和50	同上	
電気電子工学科	4	90	3年次 5	370	学士(工学)	1.04	1.06	-	昭和50	同上	
都市環境工学科	4	70	3年次 5	290	学士(工学)	1.01	0.94	-	平成22	同上	
外国語学部	4	220	3年次 5	890	-	1.06	1.05	-	昭和57	-	
外国語学科	4	220	3年次 5	890	学士(文学)	1.06	1.05	-	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経営学部	4	270	3年次 8	1,096	-	1.07	1.05	-	昭和57	-	
経営学科	4	170	3年次 4	688	学士(経営学)	1.07	1.00	-	平成18	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経営情報学科	4	100	3年次 4	408	学士(経営学)	1.09	1.14	-	昭和57	同上	
薬学部	6	220	-	1,320	-	1.03	1.05	-	平成18	-	
薬学科(6年制)	6	220	-	1,320	学士(薬学)	1.03	1.05	-	平成18	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
法学部	4	250	3年次 5	1,010	-	1.04	1.05	-	昭和63	-	
法律学科	4	250	3年次 5	1,010	学士(法学)	1.04	1.05	-	昭和63	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経済学部	4	250	3年次 4	1,008	-	1.05	1.08	-	平成22	-	
経済学科	4	250	3年次 4	1,008	学士(経済学)	1.05	1.08	-	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
看護学部	4	100	-	400	-	1.03	1.10	-	平成24	-	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.03	1.10	-	平成24	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
農学部	4	340	-	340	-	0.95	0.95	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
農業生産学科	4	80	-	80	学士(農学)	0.98	0.98	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
応用生物科学科	4	80	-	80	学士(農学)	0.96	0.96	令和2	令和2	同上	
食品栄養学科	4	80	-	80	学士(農学)	0.90	0.90	令和2	令和2	同上	
食農ビジネス学科	4	100	-	100	学士(農学)	0.97	0.97	令和2	令和2	同上	
大学全体	-	2,150	3年次 52	8,124	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	2	1	1	14	5	9	2	2	1	14	5
(10)	(2)	(1)	(1)	(14)	(5)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	2	2	1	14	5	9	2	2	1	14	5
[△1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
64 歳	1 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(B)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	辻本 洋子	R2.3	必修	チュートリアル	①	R2.3自己都合のため就任辞退(2)						
				必修	管理栄養士概論	①							
				必修	公衆衛生学Ⅰ	②							
				必修	公衆衛生学Ⅱ	①							
				必修	公衆衛生学Ⅲ	①							
				必修	公衆栄養学Ⅰ	①							
				必修	公衆栄養学Ⅱ	①							
				必修	公衆栄養学実習	①							
				選択	総合演習Ⅴ	①							
				必修	総合専門演習Ⅰ	①							
				必修	総合専門演習Ⅱ	①							
				選択	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	①							
				選択	食育演習Ⅰ	①							
				選択	食育演習Ⅱ	③							
				選択	食育演習Ⅲ	③							
必修	卒業研究Ⅰ	①											
必修	卒業研究Ⅱ	①											
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	12	科目	必修	11	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	14	科目	計	1	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1	人	必修	12 科目	必修	11 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	14 科目	計	1 科目	計	2 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の辞任等においては、当該教員が担当していた授業を引き受けることのできる教員を配置しており、学生の履修等への影響はない。授業担当教員については、シラバス・時間割等により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>開設年度から完成年度までの間を学部としての教育研究体制の基盤を形成する期間として位置付けており、円滑な学部運営に向けて、各専門分野における豊富な教育実績と研究業績を有した専任教員を配置することとしている。</p> <p>その結果、教員組織が高齢に偏ることとなったことから、教育研究の継続性の観点を踏まえ、中長期的に、教育研究の維持・向上及び活性化を図る観点から、各分野における今後の具体的な専任教員の採用計画について検討し、年齢層の高い専任教員の退職に伴う若手・中堅教員の新規採用に関する中期的な人事計画を策定した。この人事計画に基づく計画的な採用を行うことにより、年齢構成や役割分担及び連携体制が確保されるよう教員配置の適正化を図っている。</p> <p>なお、年齢層の高い専任教員の退職に伴う若手・中堅教員の新規採用を行う際には、教育の質の保証の観点から、各分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を採用するとともに、採用後も授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施を通して、継続的な教員の資質の維持向上に努めている。</p>	<p>該当なし</p> <p>履行済</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 医療栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 学事日程（前期4月6日～）	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン授業を中心とした授業開始時期を、連休明けの5月7日とし、対面授業については、6月8日からに延期した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。

広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、教育・広報活動WG、研修活動WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、シラバス改革WG）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和2年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。

（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。

c 委員会の審議事項等

1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック
2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供
3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年2回）
4. FD活動報告冊子の発行（隔年）
5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み
6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供

② 実施状況

a 実施内容

1. 受講生満足度調査
2. FD講演会
3. FD研修会
4. FD newsletterの発行
5. FD活動報告冊子の発行
6. 授業公開
7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備

b 実施方法

実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮している。

c 開催状況（教員の参加状況を含む）

1. 受講生満足度調査の実施
 - ・前期 令和1年 6月～8月
 - ・後期 令和1年12月～令和2年2月
 - ・教員は、前期もしくは後期のどちらかで年間少なくとも1回は実施することとしている。

2. FD講演会の開催

- ・日時：令和1年7月30日（火）18：10～19：10
- ・テーマ：私の授業を紹介します！～授業公開活動を通じて～
- ・参加者数：112名

- ・日時：令和2年2月17日（月）10：00～11：00
- ・テーマ：私の授業を紹介します！～授業公開活動を通じて～
- ・参加者数：106名

- ・日時：令和1年7月5日（金）18：10～19：35
- ・テーマ：大学授業における著作権の考え方とICT活用について
- ・参加者数：91名

- ・日時：令和2年2月12日（水）10：30～11：30
- ・テーマ：Population Health Managementに基づいた医療保険提供体制の構築に向けて
- ・参加者数：64名

3. FD研修会の開催

- ・日時：①令和1年9月3日（火）10：30～12：30【東広島キャンパス】
②令和1年9月4日（水）9：30～11：30【呉キャンパス】
- ・テーマ：コミュニケーション研修
- ・対象：全教員
- ・参加人数：①13名
②10名

- ・日時：①令和1年9月3日（火）14：00～17：00【東広島キャンパス】
②令和1年9月4日（水）13：00～16：00【呉キャンパス】
- ・テーマ：ルーブリック活用研修
- ・対象：全教員
- ・参加人数：①15名
②4名

4. FD newsletterの発行

- ・年2回発行（令和1年12月、令和2年3月に発行）
- ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和1年5月～6月
授業公開実施者数：90名、聴講者数：169名
- ・後期 令和1年12月
授業公開実施者数：95名、聴講者数：182名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期 各13～15回目の授業日）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計
結果に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月2日

広学内117

(目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

- イ 総合教育センター長
- ロ 各学部から学長が指名した者 若干名
- ハ 教務課長
- ニ その他学長が指名した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(委員の任期)

第3条 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項ロ号およびニ号の委員の任期は、2年とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

- イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること
- ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行
- ハ FDプログラムの開発
- ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析
- ホ 授業改善のための方策の検討
- ヘ その他FDに関すること

(委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の中から学長が任命する。

3 委員長は、審議の必要が生じたとき、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。

3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

(委員会の庶務)

第8条 委員会の庶務は、教務部教務課で取り扱う。

(規定の改廃)

第9条 この規定の改廃は、委員会の意見を聴き、学部長会議の議を経て、学長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2020年4月1日から施行する。